

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500094
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム きらら
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3766番地1 (電話) 0994-58-5859
自己評価作成日	平成26年1月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム周辺はのどかな風景にかこまれています。月々その季節にあった行事を企画し、利用者様・御家族様や地域の方々に参加して頂く事で、季節や雰囲気を感してもらいながら、コミュニケーション作りを行っています。又 入所者様・御家族様の参加もあり、家族交流会、運動会、鹿児島水族館見学なども出かけています。月々の誕生会には、他利用者様や職員でお祝いします。毎月、御家族様に手紙で近況や状態を写真を載せて、お送りしています。利用者様の体調管理には、主治医・看護師との連携を図り、緊急時の対応ができるように取り組んでいます。御家族様面会時には、居室でお茶を提供して、くつろいで話が出来るといった環境づくり、御家族様には利用者様の近況報告も行っています。ホームで 小・中・高校生の福祉体験をしてもらい 日々の利用者様の生活を見学・一緒にカルチャーやレクレーションに参加してもらい、福祉の現場に触れる機会を作っています。2ヶ月に1回の地域運営推進会議では参加メンバーより意見・アドバイスを頂いています。利用者様の参加もあります。月に1回のペースで消防訓練や地震に備えての自主訓練を行い、地域の方へも声をかけ年に2回 訓練へ参加して頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・「その人らしく安らぎのある生活を送っていただく…」のグループホーム理念を大切に壁に掲げ日常のケアで基本に立ち返り常に理念に基づき実践している。
- ・文化祭に利用者の作品を出品したり、地域で行なわれる草払いなどの奉仕作業などに職員が参加したり、近所からの差し入れや友人の面会者も多く、地域との触れ合いを行っている。
- ・運営推進会議は定期的に行い、活発な意見交換がなされ、意見をサービスの向上に活かしている。
- ・身体拘束廃止については、尊厳を大切に外部・内部の勉強会やグループホーム合同のミーティングなどで学び、言葉や身体の拘束しないケアを実践している。
- ・ケアプランについては、利用者の情報を、本人や家族・親戚・知り合いからの話しを聞き、課題分析してプランを作成し、モニタリングを毎月行い、同じ想いで共有して支援している。
- ・災害対策や緊急時対策は、隣接の老人保健施設があり看護師や職員が訓練と一緒に言ったり、応援体制が整っており、安心した生活支援ができています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	さらに理念を把握し、日々の介護に活かしていける様、努力している。	自立支援をキーワードに、共感・受容・共生を導入した独自の理念を作成している。理念をリビングの壁に貼って、日々のケアを確認しながら、実践につなげている。パンフレットにも掲載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の奉仕活動に参加し、交流を図っている。 地域の文化祭に利用者様の作品を出品し、当日は見学に出掛けている。	地域の文化祭に利用者の作品の折り紙や貼り絵等を出展し、見学に行っている。近所の草刈などを職員が、地区住民と一緒にこなしている。ホームへ地域からの訪問があり、食事や踊りを楽しんだり、小・中学生の交流もある。近所から野菜が届いたり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の中・高学生や看護学生のボランティアや実習に取り組んでいる。地域のサロンの方々との交流会を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を2ヶ月に1回開催、活動報告、行事案内等し、運営についての意見、助言をして頂き、職員で話し合いを行っている。</p>	<p>会議は定期的に行なわれ、ホームの現況報告や外部評価の結果報告・地域の情報交換等を行っている。防災頭巾の提案や防災訓練等について、活発な意見交換があり、会議での意見を活かした取り組みがされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市町村職員の方々にイベントに参加してもらったり、推進会議にて実情やケアサービスの取り組みを伝え、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>日頃から市主催の勉強会や認知症キャラバンメイト・徘徊模擬訓練等に参加したり、ケアプランについてアドバイスを受けていたりしている。運営推進会議では防災対策やノロウイルス等、助言があり、書類の更新などで連携を取り合い、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関しては職員研修、勉強会を実施し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員会議で身体拘束や虐待について勉強会を実施したり、市主催の研修会に出席して伝達研修し、身体拘束をしない事について学ぶ機会を作っている。玄関の施錠も昼間はせずに、自由に出入りできるようになっている。言葉による拘束や身体拘束をしないケアを実践している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員間で学ぶ機会をもち、虐待が見過ごされることがないように、注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	活用できるよう勉強会に取り入れている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関しては重要事項説明書など説明を行い、理解、納得を図り同意を得る。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情窓口を表示し苦情や不満を速やかに検討し、内容を利用者、御家族様へ報告し記録に残している。運営推進会議でも報告、助言をもらっている。	職員が参加しない家族会を開催したり、利用者への面会の時や毎月の手紙・電話等で利用者の近況を細かく報告し、意見や要望を聞いている。アンケート調査を実施して、こまめに情報を収集している。利用者や家族の意見は職員で話し合い、運営に反映している。居室担当を決めており、家族の意見が出やすいように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング、ユニット会、施設内の推進会議等で意見や提案を聞く機会を設け、反映できるように努めている。</p>	<p>毎月のユニット合同の会議に、出席できない職員は事前にアンケートをとり会議で、意見として反映している。個人的に管理者へ気軽に相談し、運営に反映している。利用者のケアに関することや夜間勤務のことなど運営に活かされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>早出、遅出のローテーションを組み、その日に必要な人員確保は話し合い、調整に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が順番に外部研修を受ける機会をつくり、研修後は研修内容を報告し情報を共有し自己開発に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修協議会に参加し、勉強する機会を得てサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の情報提供を把握して、御家族様からの話を職員間で共有し、本人様が安心出来るよう気配り、目配り、見守り、声掛けし関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の情報提供を把握して、面会時などで関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前の情報提供を把握して本人様、御家族様と話を聞き「その時」まず必要な支援を職員間で話し、検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所者様方々の思いを理解し、一緒に生活している者同士の関係を築けるよう声掛けしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族に利用者様の状況・要望・思いを報告・共有し利用者様を御家族様と共に支えあう事が出来る関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	住み慣れた場所をドライブ、以前より通っていた美容院、理容院での散髪、墓参り、買い物等を行い馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	自宅を訪問した際に、近隣の友人に会ったり、墓参り等に職員が複数で同行している。家族の協力を得て馴染みの理・美容室にも行っている。友人や親戚が、ホームに訪れたりしている。人や場との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様間関係が円滑にいくよう、職員による仲介、個人の精神面を考慮したテーブル配置等行っている。情報も職員間で共有し、利用者様間でコミュニケーションが図れるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関係作りの為、隣接施設へ移られた利用者様の面会や情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望を聞きどうしたいのか確認し、少しでも希望に添えるようにしている。	居室担当を決めており、各スタッフは本人や家族の思いや意向の把握に努めている。会話が弾む入浴の時間や夜、眠れない時など、かねて聞けない昔の話などを聞いている。日曜日はコミュニケーションづくりに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの今までの生活状況等、本人、又は御家族様と確認し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の把握に努め、経過記録に残している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の担当職員が本人様や御家族様と話をし把握し、お互い情報の共有に努め介護計画を作成している。	日頃の一人ひとりの思いや希望をアセスメントし、長期目標と短期目標に課題分析しケアプランに反映している。言動から思いや意向を把握している。見直しは6ヶ月に1回、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い更新の時だけでなく、状況変化が見られれば、必要に応じその都度、みんなでも検討しプランの見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の行動や身体の異変を介護記録に残し、問題点の改善策を職員間で考えている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御家族様と面会時や家族会などで話し合い、その方にあったより良い介護を目指している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を文書している地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの受け入れや、近隣者の方々との交流、町内の文化祭への出品、見学など楽しめるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様の身体の状態に合った、病院選びを行い、御家族様にも連絡、承認を頂いている。	入居前の契約時に、本人や家族からかかりつけ医の希望を聞き、受診を支援している。受診は家族が行けない場合、複数の職員で支援している。協力医療機関から月2回の訪問診療もある。隣接の老人保健施設の看護師とも連携体制が取れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃から併設老健看護師と連携を図り、急変時などはすぐに対応出来るように、情報提供に努め協働している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は医療機関との密な情報交換、入所者様の状態を把握するようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>必ず、終末期や重度化に向けての説明を御家族様、本人様に行っている。また御家族様、本人様の意向も確認している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針を入居時に、本人や家族に説明している。段階的に、家族と医療との連携を図りながら支援している。終末期は事業所でできる範囲で支援し、その時の状況により医師と相談しながら、家族の意見を重視して対応する体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時や事故発生時の対応マニュアルを作成し、職員一同で確認し合っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>月1回、自主の消防訓練を行い、年に1回消防署立ち合いの訓練を行う。</p> <p>今年度は地震から火災を想定した訓練を地域の方も参加され行っている。</p>	<p>年1回消防署の指導のもと、避難訓練を実施し、自主訓練は毎月1回行っている。消火器や自動通報装置・スプリンクラーの設置・防災ヘルメットなど、非常器具や備蓄品がある。隣接している老人保健施設にも通報がいくようになっており、連携が取れている。地域との協力体制も築いている。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>勉強会などを通して情報を把握し、意識向上に努めている。</p>	<p>地域のグループホーム協議会やユニットマニュアルを使用して自主勉強会などで誇りやプライバシーを損ねない対応を勉強している。特に注意している言葉かけについては、入浴時や失禁・トイレ誘導等の排泄について、職員全員がさりげない言葉かけを徹底して細心の配慮をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の意向を尊重し、自己決定をして頂けるよう声掛けしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所者様のペースにて、生活して頂けるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみや、おしゃれを意識し、御自分で選んで頂けるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好き嫌いを把握できるように、情報を共有している。時には食べたいものを聞き、メニューに取り入れている。	健康状態やその日の体調などに合わせて個別の対応をしたり、事前に希望を聞いて好みの食事を提供している。食欲がわくように、調理の説明をしたり、昔の料理を取り入れたり、下ごしらえや配膳を一緒にしている。バイキングをして、近隣住民を招待して楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事摂取量を記録し把握している。 水分量が少ない時は、時間ごとにチェック、必要時は主治医に連絡している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きへの声掛けや、個人の力に応じた支援を行っている。就寝前に義歯洗浄剤に浸ける等、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い、一部介助など自立に向けた排泄支援を行っている。	排泄チェック表で把握し、タイミングをみて、声かけや誘導をしている。尿量を測定して水分の補給を考えたり、車椅子の利用者は職員が一緒に行ったり、夜間の見守りや床の確認、パットの気配り等をしている。個別対応をしてスタッフ全員が共有し、排泄の自立支援を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給に努め、ラジオ体操など体を動かす機会を設け、便秘予防に努めている。ホーム内を歩く、天気の良い日は、屋外を散歩に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を行っているが、一人ひとりのペースに合わせ、入浴を楽しめるように支援している。	マンツーマンでの入浴とゆっくりペースでの入浴を心がけている。一人ひとりの希望に合わせて、怪我のないように対応している。自分でできる部分は見守り介助をしている。服の着脱も、個別に対応をしている。入浴中での会話は、記録している。歌を歌うこともある。入浴をいやがる場合は、シャワー浴や足浴をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、不安になられ眠れない時など話を聞き、安心へ向け声掛けや、一緒に過ごして入眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入所者様の服用されている薬の目的用法、副作用、用量を理解しており症状の変化が観られたら、主治医へ報告し服薬変更があるとその都度Dr、薬剤師、Nsへ確認を取るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物たたみが好きな方には無理に薦めず役割を見い出したり、体重を気にされ運動されている方には張り合いが出るよう、声掛けや一緒に運動している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	希望に沿って自宅や買い物に行けるよう、また天候を見て屋外散歩やドライブに行けるよう努めている。御家族様の面会時に協力して頂き外食、墓参りに連れて行って頂いている。	日常はホームの周辺を散歩したり、庭に出て散策している。墓参りや理・美容室、外食などは家族の協力をもらったり、家族が行けない場合は職員で支援している。ドライブや季節に応じた花見など、本人の希望があればそれに沿った外出をしている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	1万円前後の方が数名、殆どの方が5千円前後をホームで預かり買い物の際、利用者様へお渡しし、支払いされている。個人で所有、管理されている方もおり自身で管理される事で安心して繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様より御家族様の声を聞きたいとの要望がある際は、取り次ぎを行い支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>掃除の際は臭いの気になる場所は入念に掃除し、炭や消臭剤を置き、ホーム内や各居室には季節感を取り入れた展示物や花を飾り、居心地の良い空間作りに努めている。ホーム内・居室は日々、室温管理を行い、夜間は音・照明に配慮している。</p>	<p>共用空間は天井が高く、ガラス窓が多く採光を取り入れ明るい。温度調整にも配慮され、落ち着いた配色で居心地よい空間になっている。ホーム内が長く、広いので運動しやすい。居室の入り口は災害時に誘導しやすい細やかな工夫や手すりにも配慮がある。台所から居間が見えて、利用者の動きがよく分かる。壁の作品や置物が置いてあり、家庭的な雰囲気と温かみがある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様同士、話ができるようなソファの配置や、共同の場所にテーブル、ソファ、テレビを配置し思い思いに過ごして頂けるよう努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様が落ち着いて過ごせるように、使い慣れた物を使っている。</p>	<p>1ユニットの居室は各部屋に、トイレが設備されている。位牌や仏壇を持参し、自宅で使っていた時計やテレビ・写真・自分の作品が飾られている。本人や家族と話し合いながら希望を聞いて、本人の思うような配置になっており、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人様が出来る事等はして頂き、出来ない所は援助し、自立した生活が送れるようにしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない